

安全評価機器を導入

工技センター LED集積加速



企業支援

徳島県立工業技術センター(徳島市)に、LED製品の安全・環境性能を評価する新たな機器を導入する。試験機関の分析・試験能力についての国際規格ISO17000シリーズも取得し、信頼性向上を図る。当初予算案に5360万円を計上した。

LEDの性能評価には光学、安全、環境の分野があり、2013年度には安全性能にかかわる「光のちらつき対策」「雑音電力測定」と、環境性能についての「温度変化」「振動試験」「熱衝撃試験」の5機器を導入する。

工業技術センターは11年度から、全方向に放出される光の強さを測定する「全光束測定装置」と、光の分布を測る「配光測定装置」などを設置しており、国内初のファンストップLED製品性能

評価体制を整備する。取得を目指す国際規格はISO17025で、光学性能に関する「LED測光試験所認定」で申請する。取得すれば国内の公設機関で初めてとなる。

D製品が急速に普及し、市場投入へのスピードや高品質化が求められている。新たな評価機器導入と国際規格の取得で、LED製品の競争力強化や関連産業集積を図る「LEDバレイ構想」の加速を目指す。

(林啓二)

東日本大震災以降、節電意識の高まりからLED